

AEDを活用した救命活動協力者に感謝状を贈呈

—迅速な救命活動により尊い人命が救われました—

和泉市立北松尾小学校教職員による迅速かつ的確な救命活動が行われ、尊い命が救われる事案が発生しました。これらの功績により令和 8 年 8 月 4 日、当該教職員に対し和泉市消防長から感謝状を贈呈しました。

令和 8 年 5 月、和泉市唐国町一丁目において、心肺停止状態に陥った 60 歳代の男性に対し、上記校の教職員 2 名(竹崎 一栄、福岡 龍樹)が協力し、119 番通報及び AED(自動体外式除細動器)を使用した心肺蘇生法を実施しました。その結果、男性は一命を取り留めました。2 名の教職員の迅速な対応と適切な処置が、男性の命を救う上で極めて重要な役割を果たしたものです。

なお、今回の救命活動に使用された AED は、心肺停止傷病者のもとへ AED を迅速に提供する仕組みを構築するため、和泉市が市内の全交番に設置したものです。本市が推進する「地域助け合い AED 推進事業」と連携し、救命率向上に努めている成果が、今回の事案において発揮されました。

2 救急事案の概要等

- (1)発生場所 和泉市唐国町一丁目 府道 226 号線(父鬼和気線)北松尾小学校前交差点
- (2)概 要 令和 8 年 5 月、上記場所において、走行中の普通自動車にて意識を失い停車している傷病者を発見した福岡氏と竹崎氏は、周囲に 119 番通報を依頼した後、目の前にある和泉警察署北松尾交番から AED を借りだして、心肺蘇生法と AED による 1 回のショックを行い、傷病者の心拍が再開したものです。その後、本市の救急隊が現場到着し傷病者を引き継いだ救急隊が救急救命処置を施しながら医療機関へ搬送した結果、男性の尊い命が救われました。

3 「地域助け合い AED 推進事業」とは

和泉市消防本部では、AED を有効活用するため、近くで AED を必要とする緊急事態が発生した場合に、AED の貸し出しにご協力いただける事業所等を「地域助け合い AED ステーション」として登録し、Google マップ(和泉市地域助け合い AED マップ)に公開しています。

市内の施設や事業所で所有または設置されている AED の情報提供や「地域助け合い AED ステーション」への登録を促すことにより、AED の自主維持管理体制を確立するとともに、ホームページや広報誌等で広く市民に情報提供し、緊急時における AED の使用を促進することで、市民の救命率・社会復帰率のさらなる向上を図っています。また、登録情報は消防指令センターでも把握しており、119 番通報受信時に、状況に応じて通報者の近くにある「地域助け合い AED ステーション」の場所を指令管制員(オペレーター)から通報者へ情報提供を行っています。

令和 8 年 8 月 1 日現在、和泉市には 316 施設、341 台の AED が登録されています。いざという時に、迅速に AED を活用できるよう「地域助け合い AED マップ」にて近隣の AED 設置情報をご確認ください。



<お問い合わせ先>

所属 和泉市消防本部 警備課

直通電話 0725-41-6449